

山居七年

企画展 高村光太郎

高村光太郎 七年間の軌跡、ここに。

平成27年

10月9日(金)～2月22日(月)

前期展示 平成27年5月15日(金)～9月28日(月)

平成28年

開館 午前8時30分

閉館 午後4時30分

休館日 12月28日～1月3日

※企画展示室は9月29日～10月8日まで
展示入れ替えて閉室

高村光太郎記念館

〒025-0037 岩手県花巻市太田 3-85-1 ☎0198-28-3012

交通のご案内

花巻南インターから約10km、車で約15分
JR花巻駅から約11km、車で約15分
JR新花巻駅から約18km、車で約25分

入場料(高村山荘・高村光太郎記念館)

一般 550円 / 高校生・学生 400円 / 小・中学生 300円
団体(20名以上)は一人あたり100円割引



みちのくの 花巻町に人ありき 賢治を生みき われをまねきき

彫刻家・詩人として知られる高村光太郎。1945年（昭和20年）の空襲で東京のアトリエを失った光太郎は宮沢賢治の弟・清六を頼りに花巻へ疎開してきました。

終戦後、太田村山口（現 花巻市太田山口）へ移住した光太郎は1952年（昭和27年）に「乙女の像」制作のため東京へ戻るまでの7年間で当地で生活しました。

本企画展は、これまで詳細が取りまとめられなかった七年間の記録を、当地に遺された様々な資料や年譜・エピソードと共に展示するものです。

光太郎を山口へ迎えて70年にあたる本年、高村光太郎記念館は全面リニューアルオープンを迎えました。全てが新しくなった常設展示室、「月光殿」を改修した高村山荘とともに、光太郎の山居七年の軌跡をご覧ください。



高村光太郎 水彩画『牡丹』
1945年（昭和20年）作

高村光太郎記念館 リニューアルオープン



展示室 1



展示室 2

平成27年4月28日、高村光太郎記念館が全館リニューアルし、常設展示室2室、企画展示室が新たに整備されました。

展示室 1

光太郎の代表作『手』『乙女の像・中型試作』等の彫刻を展示。『道程』『レモン哀歌』等、詩の朗読と映像を組み合わせた観賞コーナーを設けています。

展示室 2

光太郎の『書』『直筆原稿』、智恵子の『紙絵』他、花巻での山居七年で遺された様々な資料を展示。また、岩手・花巻・宮沢賢治とのゆかりを示す資料を展示・解説しています。

四季折々の風景を楽しめる高村山荘とあわせて、新しくなった高村光太郎記念館へ、ぜひお越しください。

高村光太郎記念館のご案内

開館・午前8時30分 閉館・午後4時30分
休館日 12月28日～1月3日

入場料（高村山荘・高村光太郎記念館）

一般 550円／高校生・学生 400円／小・中学生 300円
団体入場（20名以上）は一人あたり100円割引

高村光太郎記念館

〒025-0037 岩手県花巻市太田 3-85-1 ☎0198-28-3012

交通のご案内

東北道 花巻南インターから約10km、車で約15分
JR花巻駅から約11km、車で約15分
JR新花巻駅から約18km、車で約25分

